

Aoi

Group

経営編

上海便り 2009年1~2月号

【情報提供】 【編集 / 提供】

(株) 葵ビジネスコンサルタンツ

東京本部: 横田税務会計事務所

〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-12-12

横田会計ビル 2F

TEL: 03-3775-1220 FAX: 03-3775-1156

URL: <http://www.aoibc.com> E-mail: aoi@aoibc.com

【トラブルの事前対応 /4】

中国現地法人でのトラブルに対して、多数の総経理や董事長が用心・準備して、実行している事前の対応策を4回シリーズで掲載しますので、参考にしてください。

『日本人と中国人とでは、思考や発想・常識が大きく違っている』と認識する事が、最重要になります。

思考

- 日本は「性善説」で、中国は「性悪説」です。故に、日本人は甘い！
【性悪説に基づいた、マニュアル・人事評価・組織・検品・会計監査がビジネスでは必要になります】 性善説でのビジネスとは、寄付行為と見なされます
;騙される人が悪い！
;タダほど高い！
- 中国は意思決定が早い、日本は遅すぎます
【日本人の意思決定は、世界中から「遅すぎる」と評判です】
- 日系法人と日本人は歴史的事実から、中国に対して一般生活でも、ビジネスでも、ハンディーキャップを持っています。
【でも、上海で個人的に反日的な言動を受けていません】

- * 短期的な思考には強いけれど、「中・長期的」な思考を欠如しています。でも、日系法人や日本人が必要とする「意思決定が素早い」利点を持っています
- * 中国でも勝つためには、手段を選ばない！ 勝てば官軍！ そして有能な他人よりも、【無能な】家族・一族を信じます
(この他人を「日本人」「外国籍人」や「外地人」と訳せば、意味が通じます)
- * 口約束は破っても良い、「リップサービス」と思っています
- * 「権利の極大化」と「義務の極小化」の傾向もあります
(生きるために、必要でした)
- * 教育は、日本以上に「暗記」中心で、「縦割り」社会ですから、応用力や思考力は低い、弱い。多数の中国系ソフトは『手作業のPC化』でした
- * 過剰な言動・表現が良い、素晴らしい能力・美点と思っています
(今月号の紹介書籍を参照してください)
;自分を能力以上に、大物に見せるためか、口数を多くします。しかし、内容

に意味がない場合が多く、聞く人の立場・意識やレベルを無視して、話しています。但し、自分の思考や能力等に「自信を持っている」人は、違っていました (故に、「出来る」や「知っている」との回答には、確認が必要です)

➤ 反論; '80 后」世代の上海人いわく、「我々の世代では、過剰な言動・表現は良いアピールだと思っていない」でした

- * 対象とする人物や法人の各レベルに比例した対応になります
 - ・ 鴨葱(カモネギ) 限度無く最後まで、搾り取ります 「Win-Lose」の敵対的關係
 - ・ 高レベル(能力・知識・情報、理解力 等) そのレベルに合わせて対応します 「Win-Win」の相互利益關係
- * 新しい「総経理」「Mgr.」「コンサル」等が赴任・業務を開始する場合だと、実質的に、ダレが「命令者;上」で、どちらが「従属者;下」を決めたがります
- * 甘い蜜には罠があり、うまい話には裏がある。意思決定時の注意点です
 - ・ 正しい決定が出ると、日本でも、中国でも、『効率的・合理的』な経営になります
 - ・ 間違った意思決定だと、『余分な出費』を伴う。この金額が、日本と比べると桁違いに大きくなります
- * ビジネス上での金銭感覚は「得して、得取れ」になりますので、『無料ほど、高い買物』になり、信頼・信用よりも「現在の金銭」を選択します
- * 大嫌いな業務は、「情報の共有化」と「部下育成」です
 - ；社内で情報を共有すると本人の『優位性』が崩れるし、部下を育成して能力が向上すると、本人の社内『価値』が減少して、『地位』を脅かされるためです。(中国ビジネス史では、「情報の共有化」と「部下育成」を評価基準にしません)
 - ；自分の利益を損なう業務には、拒否やサボタージュして、能力の有りすぎる社員;部下はもちろん、上司・コンサルにも追放・追出にかかります
 - Ex:「日本語が上手なだけ」の総経理や副総経理だと、社内には「日本人や日本語がモット、上手な社員の在籍が少ない、またはゼロ」な理由と同じです。自分の地位を脅かす人は、大嫌いで、排除します (生きるために、必要でした)
- * 報告は嫌いだけれど結果等が「良い」と美辞麗句で長々と話し、書き、自己の能力で全て実行し、未来は明るいといいます。逆に、「悪い」と素っ気無い報告か、言い訳だらけか、更に無報告にもなります
- * 他人や他社・自社でも不正を報告するのは、国民の義務です
 - 日系法人や日本人総経理が、法規に違反していたら、政府に報告するのは「中国国民の義務」です。政府も義務を果たした国民に奨励金を支払います
 - 格言;豚は太らしてから、食え!
- * 人事は、シングル・ジョブ(単一業務)組織で、マルチ・ジョブ(多能化・複数業務)思考は無い!
 - ；マルチ組織だと直ぐに独立されて、競争相手を増加させるためです
- * 独立傾向が強く、エッセンスを理解しただけの中途半端な状態でも、起業してしまう。 ；午後よりも鶏口を目指す
- * 転職を「1年間」ごとに行うのが、有能と考えている大学生が多い??

- * 歴史観も大きな相違点になります。もちろん、全ての人ではないでしょう！
 歴史書に「良名」を残す
 歴史書に「悪名」でも残す
 ;最悪の人生は「無名」です。歴史に名前を刻む事を名誉だと思っています。
 そうすると、「名も無く、清く、正しく、美しく」の人生は、辞書に載ってないのでしょうか？
- * 階級社会ですので、その意識を比較しますと、
- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の江戸時代は「士・農・工・商」でした ・ 現代中国だと、「管理職;命令者 販売&サービス 労働者 農民(従属者)」になります |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- ;故に、管理者・経営者に対する「憧れ」や「羨望」は、日本人の想像以上に強い。そして、管理職になると企業よりも[私業]になってしまい「公私混同」に走る傾向があります。一般論として、許されているのでしょうか？
- * 「70才以上」世代、「60才台～35才程度」世代、「80后」世代と思考も、好みも、感覚も、教育レベルも、まったく違った3世代です「2008年の状況」
- * 上海では、料理に油を多すぎるくらい使用するのが贅沢だと思っています
 > 反論;「80后」世代の上海人いわく、「我々の世代は、過剰な油は非健康的なので好まない」でした

中国は自分の心に正直な人々が多いため、日本人は「中国;大・大・大嫌い派」か、「中国;大・大・大好き派」に別れて、中間派は少数です。

(F:記)
 OVTA アドバイザー

Happy new-year 2009 !

Aoi

Group

経営編

上海便り 2009年1~2月号

【情報提供】 【編集 / 提供】

(株) 葵ビジネスコンサルタンツ

東京本部: 横田税務会計事務所

〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-12-12

横田会計ビル 2F

TEL: 03-3775-1220 FAX: 03-3775-1156

URL: <http://www.aoibc.com> E-mail: aoi@aoibc.com

【中国経営の参考書籍】

中国人から見た「日本と中国」の比較・相違に関する書籍をご紹介します。著者は河北省の出身で、大連外国語学院と四川外国語学院大学院、更に、宮城教育大でも学んでいます。日本語の判る中国人の社員・幹部・通訳の方や、中国ビジネスに携わっている日本人にも、必読です！ (株)葵 BC でも、読ませます)

「日本と中国 相互誤解の構造」 王 敏 中公新書 1966: ¥798

新聞の書評で「ぜひ中国語に訳して出版したい」と書いてありましたが、本当にそのとおりでした。判りやすい内容ですし、日本人には感じられない「当たり前」と思っていた不思議な事柄を教えてください。

- * 日本は公の場所では、世界でも最も外国語が目立つ国である
- * 「ひらがな」だと滑らかな、優しさを伴い、「カタカナ」だと視覚的に硬い、芯のある響きの印象である
- * 自然と一体になっている生活観や人生観は、日本暮らしを経験しないと見えにくい
- * 日本で生活していて、カルチャーショックを経験しない外国人は考えられない。特に、中国人には大きい！ それは、予想外の反応に出会うためである
- * 外国人には、日本文化へのカルチャーショックは2度ある。「日本文化に触れ出したころ」と「日本文化に触れて、しばらくたって」からになる
- * 日本語は言い回しが優しい
- * 人間の弱さを認め、そこからの再生と昇華を支援するのは、日本文化の本能のようである。「正義追求型」原理原則の国から来ると歯がゆい、甘さと映る
- * 日本社会を表す諺は、「悪の裏は善」「盗賊にも仁義」「泥棒にも3分の道理」と慈愛がある
- * 中国人は、善悪をはっきりさせて、悪を許さず、悪を戒め正す行動に賛辞を惜しまない。そして、強食弱肉の世の中で「弱々しい人物が、最後には逆転して勝つ」展開が中国人の好みである
- * 日本の曖昧性は、賞罰制度にもある
- * 中国では、反省を明確にするため、何回でもお詫びの内容を繰り返し、その繰り返す姿勢が誠実と見なされる。謝罪行為を恥とは思わず、間違いを謝罪する行為はむしろ

評価され、信用は高まる；中国は「謝罪」重視で、日本は「謝意」重視

- * 中国人にとって、謝罪はサバイバル社会を生き抜く不可欠な知恵で、伝承され、古典にも謝罪マニュアルが掲載されている
- * 中国の諺だと「和上 3 人寄れば、飲水がなくなる」で、協調して生活空間を保持する意欲が少ない。日本の諺だと「3 人寄れば、文殊の知恵」で凡人も 3 名集まり、協力すれば、良い知恵が生まれる
- * 日本では、「丁寧に話す人」が好まれ、中国では「自己主張のはっきりした話し方」が好まれる
- * 日本人の婉曲な遠まわしな言い方には、外国人は戸惑う。婉曲な表現は、主張を避けて、強い意志をぼかしたいためにする
- * 日本文には受身の構文が多いのは、当事者を不明・不問にしたいための意図がある
- * 木下順二の「夕鶴」で中国人から、思わぬリアクションが来た。
 - ・ 夫が織っている最中の部屋を覗き見した事が、なぜ夫から静かに去って行くのか判りません
 - ・ どうして、覗き見したと夫を厳しく責めないのか？
- * 日本人は肝心な所でも、本音で話そうとしない
- * 中国人は討論慣れしている。学校でも、家庭でも仕込まれている
 - ・ 言葉で表現出来なければ、独創的な観点を持っていない
 - ・ 自分の考えを言葉で言えないのは、まだ、考えになっていない
 - ・ 自己表現が上手だと提唱され、うやむやの付和雷同な表現形式は評価されない
- * 日本で「不満や注文など何でもお申し出ください」との決まり文句は、一種の符牒にすぎない
- * 寡黙で、自分の思いが伝えられる日本人は、不思議な文化を持っている
- * 中国人と西洋人は「人間本位」で、日本人は「自然本位」である。中国人と西洋人は、人間を 1 段高く据えて気遣うか、自然を突き放して眺めている。日本人は自然に感謝して学ぼうという姿勢に溢れて、自分を自然のうちの一分子と思っている
- * 中国の名園「北京の頤和園」や「上海の豫園」は、華麗・豪華をうたう人工美の庭園で、雄大や壮麗が中国人の美になる
- * 日本文化の本質は、理屈や主義や原則でなく、まず感性で掴み取る型の人を作る

日中の相互理解のため、共通性もあれば、異質性も有るとの認識が欠かせない

- * 日本文化は感性的な要素が強いため受容性に富み、中国文化は儒教に導かれて、理念を大切にす
- * 日中の文化は似て非なるものと思って接すれば、誤解を生じない。相互の錯覚とは、
 - ・ 日本人は中国文化を学んで来たので、中国人の考え方を判っているはずだ。その**伝統や習慣だって変わらない**と思ひ込む
 - ・ 中国人は**日本文化**を中国文化の影響を受けた文化の 1 つで、**中国文化の垂流**と思ひ込む
- * 日本趣味を分析すると「幽雅」と「精緻」であり、欠けているのは「偉大」と「崇高」；特に、「偉大」である
- * 日本は、ユーラシア大陸の東端で、文明伝播の吹き溜まりで、「アジア文化の貯蔵庫」

「雑種文化」「混成文化」「ハイブリット文化」である

- * 中国人の日本観も変わった。日本文化も異文化と認識した
- * 日本人はよく「ぶれる」中国と韓国は「ぶれる」事を最も嫌う
- * 日本文化は、多面的な、多様性のある混成文化で、異質な文化の受容れに柔軟である。基軸思想を持たない気楽さが、懇請文化を成り立たせている
- * 日本人の価値観はマルチ・スタンダードで、相対的である
- * 宮沢賢治の世界は、まさしく「混成文化」の宝庫である
- * 賢治の作品は、外国人には日本認識のテキストで、日本人には自文化の再認識のテキストである

中国人は、過去数千年の文明古国として輝いた地位の記憶で、自己文化と伝統に自慢と驕りを持っている。その自慢と驕りが日本に対する蔑視を生んだ。一方で日本が強大になった事実と強大な生産力を持っている事に賛意と畏敬の念も持っている。

そのため、中国人は日本に対して、歴史上、中国は日本にとって文化の輸出国で「恩人」であったと思いつつ、近代に日本から屈辱的な苦痛を被ってきた経歴による、強烈な被害意識も持っている。

著者は「宮沢賢治」大ファンです。ですから、賢治の作品を感心するくらい読んで、研究・分析もしています。

「謝罪の国；中国」との意見に対して、『謝罪等を聞いた事はない、言い訳だらけだ』との反発・反発が予想されますが、抑えてください。

(F:記)

OVTA アドバイザー

Happy Chinese new-year !

	<h2>上海便り 2009年3月号</h2>
	<p>【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ</p> <p>* 上海葵 Office; 上海日経財務内 : 021-6473-6398 (日本語専用線)</p> <p>* 東京本部; 横田税務会計事務所内 東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F : 03-3775-1220 URL: http://www.aoibc.com</p>

【大発見】 ; 中国会計ソフトは??

中国会計ソフトで「大発見」いたしました。信じられない! 可笑的! そんな出来事で、思わず「ウソー! 」とっていました。

『**決算書に数式が算入できる**』会計ソフトだったと初めて知りました。つまり、決算書の各欄に、Excel と同じように数式を入れられて、仕訳や余額表(試算表)と無関係に、無連動で、別に、数字を変更した決算書を作成できるのです。

日本本社や日本の会計人にとっては「コペルニクス; 地動説」と同じような大ショックになります。税務局へ提出した B/S、P/L と同じ決算書であるかと確認する必要が出てきました。中国会計とは、ルールが「大変に厳格だ」と思っていました。例えば、次のような「不可能」な事柄もあります。

- ・ 毎月の決算後には、仕訳; 伝票を修正できない。摘要でも不可能?
- ・ 償却費ソフトで一度設定すると、償却期間や残存価値等の修正は不可能?

修正	日系ソフト	中国系ソフト
仕訳 ・ 伝票	「ガード」を外せば、決算後でも可能	毎月の決算を実行したら、不可能
決算書 ノミ修正	不可能 ; 必ず、仕訳から修正する	可能 ; 詳細は不明??

決算書の「どの欄をどのように変更できるか?」「どの会計ソフトでも出来るか?」との問合せに対しての返事は、『**このレベルの会計ソフトに関わりたくありません**』になります。会計ソフトを使用している他の中国現地法人では、どうなっているのでしょうか?

さすがに、目の前で見せられますと約5年ぶりに会計分野での「ウソー」が、出てきました。でも、最新版の会計ソフトだと、決算書は固定算出になっているかもしれません??

(F: 記)
OVTA アドバイザー

Aoi

Group

経営編

上海便り 2009年3月号

【情報提供】 【編集/提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務有内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【トラブルの事前対応 /4】

今月は、具体的な「提案」と「投資家へ」になります。

業務;提案

- * 「80后」世代だと国際的な感覚も持っている人々も多いし、日本人以上に「自己啓発」の意欲が大きいので、**社内育成の制度を確立して明確にします**
- * 在職期間を長くするためには、日系企業が得意とする「長期社内育成」制度と「安定した職場」を強くアピールします。その「社内長期育成」方針は、強い動機付けになります
- * 「情報の共有化」と「部下育成」を**社内の評価基準**に加えて、明確にします
;本人の能力を評価せずに、『部下の能力向上』や『チーム内の情報管理』を実行したかで、評価して、大きく処遇すれば、嫌いな社員でも一生懸命に行っていました
- * 短期思考ですから、昇給・インセンティブは「小額」でも回数を増やします。昇給は、年間に1回ですか？ 2回？ 3回？ 4回？
- * ガラス張りで、正当な報酬と待遇に、適切な罰則規定を設けます
- * **人材の採用時** (日本人以上の自己啓発意欲を持っている人は多い)
 - ・ 頭の柔らかく、柔軟性のある人 「80后」世代か？
 - ・ 上海人だと**女性が圧倒的に強い**ので、男性よりも「女性」
 - ・ 本社の各専門家ならば、「本物」か、「偽者」か見分けられるので、面接・採用を依頼します
 - ・ 日本語がかなり上手でも、経営・ビジネスの本質を理解できない、知らない人が多い
(日系企業や日本人は、日本語が上手いと信用して、全てを任す傾向があります)
- * 少しでも、「甘い対応」だとその後も「甘い対応」を要求されるので、**最初から毅然たる対応**を心がけます
- * コミュニケーションが悪い会社とは、「通訳者の能力」が低いからです
;意味も判らずに直訳しているので、本人はもちろん、ダレも理解できていません
;社員の中で、通訳に対しての社員教育「経営全般・人事・営業・会計等」に

最も力を入れれば、良くなります。 5年～10年後には「経営者・Mgr.」になれる程度まで教育してください

- * 資本は「独資」を選択して、欧米系の関連会社からも出資させて、ある時は「欧米系」法人で、ある時は「日系」法人と上手く立ち回ります
- * 口約束を守り、納期や品質を守る取引先; 法人や社員は、中国でも、日本でも、信頼できるので大切にします
- * 他者・他社の評価から、「信頼できる」ビジネス人を探します

評価する人・法人	内容	その意味	
信頼できる人・法人	良い評価	Good	A
	悪い評価	NO	B
信頼できない人・法人	良い評価	NO ?	C
	「悪い」評価	Good ?	D
		最悪	E

中国でも、日本でも、最初に評価する人が「」か、「」の判断が最重要になります。そして、信頼できない人からの評価も聞く必要があります。

そして、評価が「良い」で「ケース;C」の場合だと本当は「信頼できない」人・法人なのかもしれません。

- * 重要業務や部門を「Black-Box」化して、日本本社に残します
- * 「中国のルール・法令」とか、「中国の常識」と回答されたら、証拠や裏付けを提出させます（確認しない人が悪い、騙される人が悪い）
;証拠の提出を要求して行くと、対応が変わってきます。「簡単に騙せない」日本人だと判ったからです。その代わりに、「追出」行為に入るかもしれません
- * 「**検品**」「**監査**」業務を大変に嫌います
;「利益を生まない」と思い、手抜きしたり、無視したりしますので、この業務に関しても、明確な「**罰則と奨励**」制度を整備します。社内的にも、社外の取引先に対しても必要です
- * 全業務に「**バック・アップ**」機能や「**2重の防御**」機能を必ず、備えます。最悪、消却されても、廃棄されても、業務が継続できるように組織的に準備しておきます（このトラブルも多数発生しています）
- * 赴任先では、勉強会の名称で「情報交換会」を作る、または入会します。「悪い情報」ほど**入手が困難**ですので、必要になります
;日本人だけの会合は、万が一の時を考えると注意が必要です

● 社員採用でも、取引先でも、コンサルでも、選択する場合、エッセンスだけの、口先だけの、いい加減な「**偽者**」か、それとも、良く理解している「**本物**」かの判断は、日本本社の各専門家がしてください

;会計だと、素人が少し勉強しただけでプロ会計人を判定する、理

解する事など出来るはずがありません

「具体的には、どのように対応したら良いのか？」という各質問に対しての一般論的な回答ですので、参考にしてください。

(F:記)
OVTA アドバイザー

Aoi

Group

会計編

上海便り 2009年4月号

【情報提供】 【編集/提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【トラブルの事前対応 /4】

今月は「会計人・会計業界」と「契約」に関してまとめました。

会計人の思考

21世紀でも、会計業界には未だに「共産主義時代」の国営企業意識が強く残っています

; 日系法人で会計が上手く行かないのは、この会計に関する「コンセプトが「日本; 資本主義」と「中国; 共産主義」では大きく違っている」からになります。若い世代でも、会計の先生は国営企業時代の会計しか知りませんので、国際会計を教えているか、かなり疑問です。(国際会計 日本会計)

* 会計人にとって「**ボスは税務署**」になり、会社内では自分の地位を『**御目付役**』と自認しているので、総経理(社長)や董事長(投資家)の言う事や指示を無視して、従わない。; 逆に「**なぜ従う必要があるのか??**」とも思っています

* 国営企業だと、**税金を多く納付する**「経営者」や「会計人」が優秀と判断されました。故に、

- ・ **節税を知らない!** 利益を多く出す。でも「自分が税金を支払」のは、大嫌い
- ・ **与信管理を知らない** 「P/L」をチェックするが、「B/S」の年間の流れ等を見ない
- ・ 「**支払予定表**」は存在するのか?? 故意か、過失か、「不渡小切手」がかなり多い

* 「**管理会計**」の目的や意味を知らないで、単純な『**技術**』だと思っています。そして、書店には山のように管理会計関連の書籍を積んで売っています

* 『**正しい2重帳簿**』を知らない! 2重帳簿の作成を「簡単だ」と思っています

; 「2重帳簿」で決算申告しますか? と直ぐに尋ねてきます。その内容は、単なる数字を合わせで、不自然で、違和感が残る「2重帳簿」決算を行います。正確な、縦から見ても、横から見ても文句なしの「2重帳簿」の作成には、高度な会計・経営レベルが必要だと知りません

; 上海で正しい「2重帳簿」を作成できる会計人には「手取月給; 3万~5万

RMB」は、覚悟してください。脱税金額よりも高額になるでしょう？

(単なる決算作成ですと「手取月給」3,000RMB程度です)

- * 日本本社の経理や会計人が、中身を理解できる「会計ソフト」の導入する場合、「導入反対」の社員はそのためならば、**何でもします、何でもあります！**

;拒否はもちろん、「法規の拡大解釈」や「自己都合・利益へ誘導」「政府の権威を利用」してでも導入阻止に動きます。 **「手段の正当化」**です

;導入後、2~3ヶ月間以内で会計実務・中身が変わらない会計人には「国際会計」の実施は一生、不可能でしょう。 40才~50才台の会計人でも、直ぐ変わりました

- **経営者や営業担当者に知らせずに、取引先と交渉して「支払月日」を遅らし、「支払金額」を値切るのが、優秀な「会計人」と誤解しています。**

そのためか、小切手の「不渡」も比較的に平気です

(不渡小切手を出しても、ペナルティーは罰金を支払うだけです。小切手の「取消」も可能です)

契約

- * **「日本語」** 契約書だけにサインします (もちろん、合弁・取引先は嫌がる)
- * 中国語の定款や契約書の作成は、『信頼できる』弁護士に作成を依頼します
- * 契約とは、「合意内容の文章」程度と考えています
;利益分配の時や、自社の利用価値が無くなると、裏切られて、騙されて、お金を取られて、『契約違反・廃棄』されると予想して、**契約書に「罰金」を記載して、契約違反に対する「反撃方法」も事前に用意します**
- * 「業務内容・品質」や「納期日」と「ペナルティー」を記載することは、当然の権利です。 **無記載だと、権利の放棄になります**
- * 可能ならば、契約書にも**「最終の検品者」**を明記して、**責任を明確にします**
- * 金銭契約に関しては、「**金を貸すバカ!**」&「**金を返す大バカ!**」との中国の格言が、全てを表しています
(この格言が上海スタイルか、それとも中国全土でも通じるかは確認できていません)

(F:記)

OVTA アドバイザー

Aoi

Group

会計編

上海便り 2009年5月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務㈱ 内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所 内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【トラブルの事前対応 /4】

4回目の最終回で、今月は「会計業務」と「会計コンサルから」になります。

会計業務

- 合併・合作でも、会計業務だけは『日本本社の直轄』にして、オープンにします
(会計で不正が起これば、損害金額が桁違いに多くなります)
- 定款に『国際会計の実施』を書き込みます。「国際会計 日本会計」
- 総経理の一族や役所が紹介した「会計担当者」を採用したり、紹介された「CPA事務所」と契約したりするのは、日系法人の場合だと『ご自由に、不正等を行ってください』と判断されますので、自社で担当者を探し出して、必ず、『日本本社の経理が会計内容をチェック・確認してください』
; 押さえが利かなくなって、損失金額も膨らみます。(このケースも多い)
; 邪魔な「会計コンサル」だと判断され「追出」にもあいました
- * 会計責任者の人事契約書への記載内容は、
 - ・ 「国際会計」の実施と具体的な業務内容・提出日
 - ・ 「内部監査」と「外部監査」の実行・協力
 - ・ 「総務」業務で契約
; 暇な時には、「コピー取り」も「電話番」も行わせませ
- * 柔軟な思考の人を採用して、中国会計のプロを自認している自身満々な「会計人」は、遠慮した方がよい(国際会計に拒絶反応が強い)
- * 万が一、採用済の法人ならば、「解雇」するか、「棚上げ」して実務には、一切触らせない
- * **最良の採用者**
 - ・ 日本語がOKで、本社とコミュニケーションが可能
 - ・ 上崗証の所有者か、会計教育が済んだ人で、会計の「素人」と認識
- * **最悪な採用者**
 - ・ 英語も日本語もダメだと、コミュニケーションが取れない
 - ・ 中国会計の『プロ』を自認しているため、「中国会計の慣習」「ルール・法律」「中国の常識」ですと自己都合の回答が出す。 ; 適応力が欠如
 - ・ 縁故採用はダメ! 一族・友人等だと解雇できない

- 最低限の会計業務として、「現金・銀行日報表」を毎日、「支払予定表」と「支払実績表」を毎月、作成・提出させます。会計業務をお目付け役から、経営者からの命令・指示される「基幹業務」に戻します。
 - ；総経理が「支払先」や「支払金額」を決めて、会計担当者は「小切手を切るだけ」と「銀行に行くだけ」の業務に戻します
 - ；白紙の小切手を渡して、記入・作成させます。取引先と金額を確認してから、総経理が自ら「銀行印」を押します
- 「小切手×2種」と「全印鑑×5～7種」を全部、総経理が管理して、渡さない!!!
- 会計責任者と別人に「現金／銀行預金の管理者 小口担当者」や「PC 入力者」を設けて総経理の直轄にします。；会計の2重防御になります
- 毎月の財務諸表作成として、「固定資産償却費」「製造原価計算書」「推移表」「内訳表」を翌月の20日までに作成・提出させる。日本と同じ会計レベルになります。
 - ；与信管理の思考が欠けていますので、日本本社の経理部が内訳を確認できるようにします。特に、B/Sの全部の勘定科目には、補助を設定して毎月の残高等を確認します。「売掛金」「仮払金」「買掛金」「未払&預り金」で必要になります
 - ；中国会計には「推移表」「内訳表」が存在しない??
- 『**監査契約の注意**』

- ・ 「日本本社」と「日本監査法人」の間で、契約が最良!
 - ・ 日本語の契約書
 - ・ 業務内容の明記 ；各財務諸表&提出日
(日本語で作成させ、個別の与信管理等も実施)
 - ・ ペナルティー条項の明記

サンプルを作成させて、チェックした後に契約します

 - ；必ず、「J-SOX法」への対応も依頼します。
- そして、毎月の連結決算を実施したいならば、本社；経理部に提出される財務諸表は、少なくとも「2～3cm」になります。財務諸表が「2～3枚」で、正しい連結決算が出来る訳がありません
 - ；例えば、「製造&売買ナシ」のコンサル会社が社員5名、顧問先が約20社～30社の場合でもA4で約80枚でした。その種類は、B/S、P/L、税金申告表、銀行残高証明書、償却費リスト(PC・内装)、勘定科目元帳、内訳表で、「商品入出荷・在庫表」はナシです

会計コンサルから

プロ会計人でしたら、

- 必ず、自分のテーブルの上に中国財政部設定の「2006;企業会計準則」を置いています (葵の御門です)

- 判令から、「**発票は支払証明とは認められない**」
- 「中国のルールです」「法律です」とか、「中国会計の常識・慣習です」との逃げ口上を言わせないで、証明する書類や書籍を提出します。『**説明責任が重要**』と知っているためです
- 「**現金・銀行日報表**」と「**支払予定表&支払実績表**」の重要性を理解させます。そして、全ての銀行口座で毎月の「**残高証明書**」を要求します
；会計の常識ですが、中国法人に用意させるのは「**日本本社:経理部の責任**」です
- 毎月の決算書類として「内訳表・推移表」「資産償却リスト」を「B/S、P/L、税金表」と一緒に、作成・提出してくれます（ 管理会計の常識です）
- 判断する人が会計の知識を有しているならば、**偽者の**「会計人」や「会計コンサル」を見破るのは簡単です（ 製品にも、人物にも、コンサルにも、企業にも、偽者が多いのが中国;上海です）；**日本本社の専門家が判断してください**
- * 会計とは、現状を知る「**企業の健康診断**」になります。正確に、素早く、数字が出て来ると「病気予防」にも、「対症療法」でも役に立ちます
（ 中国は毎月決算ですから、その「**数字が正しい**」と経営者・Mgr.には大変に役立ちます）
- * 会計や税務に問題がある法人では、ホトンドの**原因は、人事や教育**にありました（ 会計コンサルの発言だから、正しいでしょう？）
；問題の法人だと会計責任者を「**会計実務から、外せるか**」がポイントです
；赴任する経営者は、会計の実務を知らなくても、「**会計分析・経営分析**」を理解してから、数字を読めるようになってから、赴任してください
- * 中国:上海で求められているのは、数字の読める「経営者」です。経営分析が出来て、作成された数字が間違っているとか、自社の現状を素早く把握できる方を必要としています
- * 現地法人の会計責任者への「**人事権**」を持ってから、会計システムの構築を行います。「**業務拒否**」**権を剥奪**してください（ このケースも多い）
- * 会計コンサルが有能であれば、あるほど、問題を抱えている法人の会計担当者から、評価は「**悪くなります**」（ そして、邪魔者を追出したがる）
- * **国際会計の導入費用や期間**は、日本の「約 3~4 倍」になります。理由は、現地法人の会計担当者が拒否したり、妨害したりするので、**会計人の再教育**から開始する必要があります
- * 会計コンサルの特徴は、会計業務で「中・長期間」お付き合いするため、【**悪い情報**】でも正確に、理解しやすく、伝えて、アドバイスしています
- * 中国会計ソフトでは、**伝票を変えずに決算書の各欄だけを修正できます**

中国ビジネスの経験者ならば、今後、どこの国・どこの地域に行っても通用します。そのくらい鍛えられて、遅くなっています！

(F:記) OVTA アドバイザー

【情報提供】 【編集/提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* **上海葵 Office**; 上海日経財務有 内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* **東京本部**; 横田税務会計事務所 内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【上海生活】 半年の上海生活から

上海に戻ってきて、約6ヶ月間が過ぎました。3年以上も見ていなかった上海について、再認識・再発見しました。

* 上海の運転は上品??

上海と「江蘇省や浙江省」の大都市を良く知っている「日本人ドライバー」からの一言です。

上海の運転手達は『**交通ルールや運転マナーを守り、時速制限どおり運転している**』と教えられました。そして「江蘇省や浙江省の運転」は、無法状態になっているとの複数の日本人ドライバーからの意見・認識です。上海では相変わらず「**人よりも車を優先**」は変わっていません。今でも、歩道や横断報道を歩いていても自動車やオートバイ・自転車に轢かれそうになって怖い思いをしています。

上海には交通補助指導員が、多くいます。以前は「歩行者だけに」注意を与えていましたが、それが今では自動車やオートバイでも違反していると注意して、交通ルールを指導しています。大変な、大変な進歩です。

* 自動車のナンバー・プレート

上海では自動車のプレートが入札制のため、今年は最低価格が「約40万日本円」になっています。そのため、プレートを良く見ると「浙; 浙江」「蘇; 蘇州」「皖; 安徽」等の他省で登録されている自家用車を上海市内でも多く見かけます。目分量だと、約40%まで増加しているようです。 ; 上に政策アリ、下に対策アリ!

* 買物には、エコ・バック持参

スーパーやコンビニでも「エコ・バック」は当たり前で、商品を包むことなく、手渡しされます。東京以上に進んでいます。もちろん、有料でバックを販売しています。

その「コンビニ; 便利店」も日系だと「ローソン」でしたが、ファミリーマートが商品内容と大量出店、そして良い店舗イメージで独走しそうな勢いです。09年春に「7/11; セブン・イレブン」が台湾系でヤット、上海に1号店を出して来ました。どうなるか、今後が楽しみな上海のコンビニ業界です。

* 上海の景気

日本の景気ほど悪くは無いでしょうが、オフィス・ビルだと約50%は空室です。多

数の外国企業が撤退したり、規模を縮小したりしています。それでも浦東新区では、オフィス・ビル工事が多数進んでいますから、更なる空室の増加が見られそうです。知名度が高く、日系企業や外資系企業が多数入居しているオフィス・ビルでも、空室が目立っていました。

大学卒業者の初任給で比較すると数年前のピーク時から、「約 1,000RMB」も低下しているようです。08 年の大学新卒業者だと約 13%の人が職に付けなかったと言われ、09 年度だと最悪で 25%～30%まで大卒の無職者が増加するかもしれないと予想されています。

* 禁煙席もあります

中小の地元レストランでも「禁煙席」が登場しています。タバコ好きで『マアー、1 本と勧める』のが挨拶・当たり前で、ホテルでも、公共の待合室でも、お互いにタバコを勧め、勧められる「中国」です。そして、「新幹線」動車組にも禁煙席が登場してきました。

* 牛丼も食べられます

牛丼ファンの方へは朗報です。上海には「吉野家」も「すき屋」もあります。紅ショウガは取り放題ではありませんが、でも、吉野家には餃子や餛飩があり、すき屋にはカレー丼に福神付けも添えられています。街中の日本料理店で食べるよりも、美味しいメニュー；吉野屋の「餛飩」です。

* 最大の変更

それは、外国人のビザ取得システムかもしれません。以前は、上海で簡単に、楽に、滞在期間の延長も出来ましたし、Z ビザ「就労ビザ」への変更も可能でした。

上海では、F ビザ「マルチ・ビザ」だと延長期間は 1 回「+30 日間」だけになりました。そして、「Z ビザ」へ変更する場合、その条件が厳しくなり、難しくなりました。

通常は、日本に一時帰国して、「仮；Z ビザ」を取得して、再度、中国で「正式；Z ビザ」を取得する面倒な形式に変更されています。外国人を雇用するよりも、優秀な中国人を多数雇用させるための政策でしょう。

* 80 后年代

日本で団塊世代が登場して世の中を変えましたが、同じような中国の「新人類」です。自分達に強く誇りと自信を持っていて、確かに、文革世代とは、嗜好や意識と思考、ファッション・センス、国際感覚も全ての面で、マツク違いと強く認識させられました。学歴も高いので、学校が無かった古い世代(親の世代)よりも給与は高くなっています。(詳細は、上海情報；08 年 7 月号 & 9 月号を参照してください)

日本人からすると思考や感覚が一致して、話しやすく、理解しやすい新世代の登場かもしれません。(09 年 2 月の「朝日新聞」or「日経新聞」に中国；80 後の若者世代として記事が掲載されていました)

* 日本語雑誌

日本語の無料雑誌は約 3 誌でしたが、今では約 7 誌と大幅に増加しています。米国；ニューヨークを抜いて海外で最大の日本人社会を形成している上海らしく、月刊誌だけでなく週刊タイプも発行されています。

* エレベーターでの挨拶

エレベーター内での出来事です。他者を乗せるためや、先に降るすために「OPEN」ボタンを押していた場合、以前にはまったく聞けなかった言葉「謝々：ありがとう」等を約6ヶ月間に2回も聞いてしまいました。中国；上海で「謝々」の言葉を聞くと、ビックリさせられます。但し、言った人が中国人か、それとも中国語を話す外国籍人かは不明です。

エスカレーターでの「右側立ち」「左側歩き」に関しては、表示されていますが、今一、守られていません。そのためか、2010年の上海万博までに改善したいとエスカレーターでのキャンペーン「左行右立」が開始されました。

* 上海ビル景色

東京と比べると個性的で、奇抜なデザインのビルが多いです。地震が無い事を前提にしているためか、建設期間も短く、丸型・三角形・ロボット型・球形と多彩なデザインが揃っていて、素人でもビルを眺めるだけで楽しくなる街；上海です。その中で、単純な箱型ビルを見つけますが、それは古い時代に立てられたタイプでした。これこそが資本主義なのでしょか、時代と共に変わるビル・デザインです。

(F;記)

OVTA アドバイザー



上海情報 2009年7月号

【情報提供】【編集/提供】(株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務㈱ 内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所 内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【続; 中国コンサルタント ; 相談・交渉・依頼・回答・確約】

1年以上前の「08年2~3月号」で中国; コンサルタントの選択・判断方法を掲載したら、その後に読者の方からクレームや苦情等を頂きました。それと、役に立つアドバイスも頂きましたので、ご紹介します。

日本に在住している中国人の方々からの「上海情報」に関する、賛成や反対の意見・感想になります。

* **クダラナイ!** 「嫌中国」で、「中国人を馬鹿にしている」日本人が書いてるので、中国や中国人の悪口ばかりだ!

* 日本人の友人に読ませたら、「内容が無いから、読まない方が良い」と言われた。私も同じ意見だ。

- 中国人のメンタリティーをナゼ、こんなに理解できるのですか?
- イヤー、参った! 上海や上海人に対する内容や記述は、ピッタリ! 「上海人以外の中国人」も同じように感じています。
(上海人で無い中国人の方からです)

次に、中国に進出している法人や駐在している日本人からの質問です。

「**中国現地コンサルが不正確な言動で、いい加減な事を言ったりし、更に、その責任を取らない**」ので、「どうように対処したら、良いのか?」でした。

そこで、内容を確かめると『日系コンサル; 人事・会計・税務・貿易 等』でも同じような言動で、問題が発生していました。

アドバイス

A: 経営に大きく影響する重要な事項であったり、説明して貰っても納得できなかったり、不可思議な言動の場合は、必ず、文書にして貰い、会社印を要求します。 (もちろん、日本語でもOKです)

そうすれば、後日、責任問題が発生した場合でも、総経理や現地法人には責任がなくなるでしょう。但し、そのコンサルタントに「夜逃げ」や「逃亡・倒産」されれば、補償・罰金や後日処理までも自社で行うこととなりますので、注意が必要になります。

口約束は、「リップ・サービス」と考えていますので、必ず、責任の所在を明確にする事が大切になります。故に、**「文章化」を希望・依頼するとコンサルの態度や言動が、それまでの**

真反対に変わって来るかもしれません。その時点で、説明や解説の「正・誤性」や「信頼性」「真剣度」も判断できます。

そのコンサルを選択した「人物判断能力」が問われるでしょうが、それは、また別問題になります。

B; 人物の判断基準について提案もありましたので、ぜひ、参考にしてください。

- ・ 中国や中国人; 自分の面子を潰す「**悪い情報**」も提供してくれる中国人
; もちろん、公共では不可能の場合も有りますので個人的になります。正確な情報によって、まともな、通常の経営・ビジネスを行えます

- ・ 自分にマイナス【損失や損害】を与えるだろう情報でも提供してくれる人
(自社や自国ではない、あくまでも自分・家族・一族です)
; 上手い儲け話や自己宣伝だけをする人が多いため、「**損して得取れ**」を理解している人かもしれない。但し、「**撒き餌**」には注意する。タダほど高いものは無い
; 最大に注意が必要な人物は「**何でも出来る**」と言うコンサルタントでしょう。それを信用する方が悪いのですが!

結 論

本音で話し合える中国人を持っていると、その友人; 朋友は「**一生の宝**」ですので大切に、大切にしてください。

(F: 記)
OVTA アドバイザー



上海情報 2009年8月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務㈱ 内

: 021-6219-8120 (日本語専用線; 8月中旬刊)

* 東京本部; 横田税務会計事務所 内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【中国経営の参考書籍】

今月は、中国コンサルタントの「筧 武雄」氏が書いたビジネス書籍をご紹介します。中国近代・現代史が理解できるかもしれません。

「**チャイナ・ビジネス 成功の極意と失敗の教訓**」 筧 武雄著 蒼蒼社: ¥2,600
1998年の出版と古いため、中国情報や会社経営に関しては「時代」を感じさせられましたが、中国人の本質や傾向等について、特に、文化大革命に関する情報は、有益になります。合弁企業の経営者や投資家には、大いに参考になるでしょう。

そして、筆者は多くのことを予想していますが、「当り」も「外れ」も有ります。

* 事前の中国勉強; ポイント

- ・ 諸外国の侵略との戦いを経て民族独立を勝ち取った近代・現代史
- ・ 3000年の伝統文化
- ・ マツタク、異なる社会体制

* 中国ビジネスの原則

中国人を見極める眼を育成

低コストの中国で、更にどのように低コストでの製造やサービス提供

; 現在は、コスト上昇中です

向こうが複数を相手にするならば、こちらも複数交渉

; 比較競争させながら、安全弁を確保する

日本との歴史的な経緯に係わる民族感情への適切な対応

* **金の切れ目が、縁の切れ目** ; 中国側にメリットがなくなると「**再見: サヨナラ**」

* **マニュアルを準備**して、属人的な熟練を要求しない事柄で中国に展開する

* **儲かると判ると一斉に同じ行動に走る** 性癖がある

; 一発勝負、賭博商法、短期高利回収

; 故に、天候に左右されやすく、回収に長時間掛かる「農業」には投資しない

* 合弁先の中国企業に「土地」「工場建設」「現地管理者や熟練労働者の派遣」を期待すると裏切られることが多い ; 中国側でも不必要な人・物を押し付けます

* 本性; 「我利我利・自分勝手・策略家」??

- ・ 自分の利益を優先
 - ・ **我が身や我が財産を守るためならば、どんな原則も曲げ、どんな嘘も平気でつく**
 - ・ 経済的な人間でなく、政治的な人間 ; 我田引水の政治的な戦略がある
 - ・ 金で縛って、金で釣る
- * ビジネス常識 ; 中国の常識
- ・ 不良品は、購入者の責任 ; **販売者は無責任**
; 詐欺事件は騙された人が悪い
; 売掛金の回収は、掛売りした会社や社員の責任
 - ・ **血族や同等の友人だけを信用**する
 - ・ キックバックやリベートはエスカレートする
 - ・ 中国には、対外国人へのタカリ構造がある
; 社内と社外の両方
; 社会保険等の闇流用、水増し請求等、備品や現金等の持出しや盗難
 - ・ **成功すれば乗っ取られ、失敗すれば丸損**
- * 合併事業のポイント
- ・ 現物出資を拒否して、現金だけの出資にする
 - ・ 中国側から、人員の受入を拒否する
- * 契約はイザ、問題が起きると物を言う
; 「**契約とは、その時点での合意記録にすぎない**」と認識されるが、万が一、日の目を見た時、困らないように作成する
- * ビジネスの世界では、日本人の常識を持って、冷静に評価して、判断する
- * **中国人は会社のために仕事をするのでなく、個人のために仕事します**
- * 法律で密告・告発が奨励されている ; 信賞必罰で挑む
- * **経営権と出資比率は別物です**
- * 国有企業で工場長等の幹部職を経験した副經理を受け入れると、**マズ間違いなく失敗します**
- * **人材は、極力若く、柔軟な人材を採用する**
- * 日本式経営の適合ポイント
- ・ コスト意識 ; 個人の工夫等でのコスト・ダウン利益を個人に還元
 - ・ 品質意識 ; 品質を面子や評価に反映
 - ・ 納期遵守 ; 出来高現金支払の請負制や実績主義
 - ・ 5S精神

中国での傾向や風土ですが、日本人でも同じような点が多数あると判断しています。しかし、自分のために仕事をするのは、個人的には「**大変に素晴らしい**」と評価しますが、そんなに悪い傾向・言動なのでしょうか?? 会社のためだけに仕事をする日本人は、少ないと考えています。

個人のために仕事をして、それを会社の業績・成果と連動させるのが、日系法人の総経理や日本本社の仕事・業務だと思いますし、得意な分野だと思っています。読者の方はどのようにお考えですか？

(F:記)
OVTA アドバイザー



上海情報 2009年9月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務㈱ 内

: 021-6219-8120 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所 内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【中国法人の節税／脱税】

08年1月から法人所得税が改正されています。その内容について税務の専門家達からの詳細な内容説明を受けましたので、ご紹介いたします。

最も重要な点は、「言葉の定義」でした。それでも、まだ不明な点；言葉が多く残っています。

《言葉の定義》

- ・ 人件費は、基本給+手当、賞与、役員報酬、雑給、法定福利費、「役員賞与は含まず」
- ・ 売上高は、主要収益、副収益、その他収益 (雑収入・配当金・補助金も含む?)
- ・ 利益は、税引後の純利益

勘定科目	算出式	備考
工会費 (組合費)	人件費×2%	全額が会社負担
研修教育費	人件費×2.5%	超過額の次年度繰越は可能 ；政府の研修も含む
福利厚生費	人件費×14%	社員の飲食代等も含む
会議費	***	内容によって、「福利厚生費」や 「接待交際費」の扱い
広告宣伝費	売上高×15%	超過額の次年度繰越は可能
接待交際費	総額×60%	売上高×0.5%まで算入可能 ；超過額の次年度繰越は不可能
寄付金	純利益×12%	

次は、法人所得に大きく関係する事柄になります。中国では法人設立後で「**生産経営開始日**」までのP/L関連費用を全て「**開業費；資産**」に計上します。その金額を会計では「一括償却」して、税法では5年「**60回償却**」になります。

問題点は「生産経営開始日」の定義が、未だに確定していません。今回も多くの会計人に質問したら、イロイロな回答が出て来ました。

- ・ 最初の発票発行「月」or「日」
- ・ 最初の仕入/購入日（原材料や商品）
- ・ 批准証日
- ・ 仮；営業許可証日
- ・ 工場の稼働開始日 ??
- ・ 批准証の発行日から「6ヶ月」以内

この「生産経営開始日」の設定を早くするか、遅くするかで、『**税務上の利益**』が大きく変わりますので、重要な選択肢になります。会計上は「営業許可証日」で『生産経営開始日』を設定して、税務では「1枚目の発票日」として税務調整を行っている法人もありました。

今後、中国の日系法人で大きな問題点になるかもしれないと予想しているのが「**高級管理職の個人所得税**」になります。「183日未満」の滞在でも日割で個人所得税を申告・納付するとの『中国国税局の通知』が出ています。

- ・ 「**高級管理職**」に関しては、自社の所属する税務局が判断します（**董事・監査・経営者**等）
- ・ その**日割申告**の手順；中国滞在が「0；ゼロ」の場合でも「ゼロ」申告しています。（将来を見越して、日系法人もゼロ申告を開始していました）

2008年度からどうも税務局が、個人所得税に厳しくなり始めたらしいとの情報を得ています。中国滞在が183日未満だから、中国で所得がゼロだからと「日割申告」をしない中国法人の高級管理職は「**脱税**」になるかもしれません???

いつ、刑務所に行くかもしれませんので、名前だけの**董事長・董事**や**總經理**の日本人でも注意してください。

（滞在日数について**入国日**は含みますが、**出国日**は含みません）

もう1つの**脱税**についてですが、会計を理解していない法人ですと「**個人所得税**」を納付する時に、「**工資；給与**」を使わずに税金の納付なので「**租税公課**」で計上しています。こちらについては、説明の必要もありませんが、今でもこの会計処理を行っている法人を時々見つけます。

中国も複式簿記ですので、日中の会計上で相違点がそんなに多くありません。日本会計と同じように計上・処理していけば、問題の発生も少なくなり、そして内訳も理解しやすくなります。

「**節税と脱税**」の相違について多数の中国会計人は、理解できませんので、以前はこの相違から説明しました。2009年では、どうなっているでしょうか？

日中の会計上の大きな相違点は、2点です。

- ・ 「**個別原価法での算出**」
- ・ 「**製造原価計算書のB/S所属**」

(F:記)

OVTA アドバイザー



上海情報 2009年10月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6219-8120 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【中国新幹線 ; CRH】 & 公共の交通機関

上海から、鎮江「約1時間半」まで新幹線タイプの鉄道で旅行しました。片道が1級席で「88RMB≒1,300JP¥」でした。

到着を待つ間、鎮江駅で見ていると高速の新幹線タイプと長距離寝台列車・近距離列車、更に、貨物列車までも同時に運転されていました。

本家 ; 日本や台湾新幹線のように新幹線専用レールで運行するのではなく、多数の列車タイプを5分~10分間隔で混在させていました。それを見ていると中国国有鉄道の運行スタイルは、「凄い」の一言でした。それも、現在まで新幹線タイプによる大事故の情報や噂ありません。

かつて、そして今でも中国は「ハードは1流でも、ソフトは3流」と評価されていますが、そんな評価もそろそろ変わり、終る時期に来たのかもしれませんが。そして、新幹線型 ; 列車の遅延も5分~10分程度と我慢できました。但し、列車に乗る前に待たされる「待合室の混雑」具合や「乗せてやる」との乗務員の体質は、以前と同じ中国「鉄飯碗 ; お役所体質」でした。

現在、上海からは、蘇州「約40分」・無錫「約50分」・南京「約2時間」には多数の列車が出ていますし、その先の安徽省 ; 合肥「約3時間」や武漢「約5時間半」方面も運転されています。飛行機で行くよりも便利になっていて、今後は、「北京⇄上海」と「南京⇄上海」の間には、新幹線タイプの専用レールを新設して、もっと、もっと使いやすく、便利にする計画です。

列車の座席は、硬座「経済」エコノミー席と軟座「一級」ビジネス席の2種類となった日本と同じタイプです。その価格は、日本と比較すると断然、中国の方が安くなっています。

運行システムですが、混雑している主要幹線「上海~南京」間では最高時速を200kmに抑えて、「南京~合肥」間では、時速を250kmに上げて更なる高速で運転していました。

長江沿岸の都市での交通は、上海・南京・武漢に地下鉄・都市鉄道が開通して、都市内の移動も便利に、快適になっています。今、蘇州・杭州でも地下鉄を建設してい

ます。大都市だとバスやタクシー、自動車の公共機関だけに頼ると、道路が渋滞してスムーズに行かなくなっています。鉄道の利点「大量輸送・省資源」や公害防止のため、多数の大都市で採用される傾向にあります。現在のところ、中国国有鉄道は長距離輸送を専門として、近距離・郊外通勤のためには、使いやすくなっていません。そのため、地下鉄や都市鉄道の開通が、大変に待たれています。

上海地下鉄の利用者としては、時間もホボ正確に運行されていますし、約4年以上も住んでいて、経験した「地下鉄トラブル」による運行停止の回数は、たった『2回』です。日本以上に運行トラブルは、少ないのかも知れません。

(上海地下鉄8号線では、フランス系の信号技術によるトラブルが目立っています)

2010年には上海で万博が開催されますので、その時にでも、ご利用になって欲しいのが「Maglev：リニアモーター」鉄道です。浦東空港と市外の東；龍陽路駅の間を約8分間で運行しています。価格も開通初期に比較したら大幅に低下して、航空券を持っていると片道「40RMB」になります。「Maglev」が営業運転しているのは、世界中でも上海だけです。

そして、中国は世界最大の外貨所有国でもあります。リニアの隣では「馬車・牛車で荷物を運んでいる」や「人力でリヤカーや自転車で運んでいる」のも中国です。上海万博の時に多数の日本人も中国旅行を楽しまれると思います。ぜひ、中国の旅行にもトライしてください。

ただし、バスを利用すると市内バスでも、長距離バスでも神風運転が多くて「スリル満点」と心臓に負担が掛かりますので、ご注意ください。

(F:記)
OVTA アドバイザー



上海情報 2009年11月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6219-8120 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【回答は、嘘です！】

中国現地法人の会計に関して、多数の質問・相談や疑問が寄せられています。その中からご紹介いたします。

中国: 上海に長く住んでいますと、ビジネス上のいろいろな場面で「中国のルール・法律です」「中国の常識・慣習です」と回答される場合が多くありました。そこで中国会計の分野で回答された、アツと驚く「Q&A」を特集します。

Q-1: 決算書は「P/L」だけです

中国に進出した日本本社からの問合せです。中国現地法人の総経理「社長」から、毎月の決算報告として、P/L だけが送られてきました。そこで総経理は「B/S」も送ってくださいますと伝えると、その返事は、「中国会計では毎月作るのは【P/L】だけで、期末監査の時だけ「B/S」も作ります。毎月の決算時には、B/S はありません！」と言われましたが、本当ですか？

= 嘘です。

中国会計は毎月決算を行い、「B/S」「P/L」「税金計算書」等を税務署に、翌月の指定日までに申告します。

Q-2: 製造原価の算出は、「加重平均法」だけです

製造業の会計責任者から、各製品のコスト計算する方法としては、中国会計では「加重平均法」しか使用できない。他のコスト算出方法は認めてない！」と言われましたが、本当ですか？

* 加重平均法とは、【製品・原材料金額 / 製品数 製品単価】と算出するらしい。

Example;

「製品×4タイプで合計100万」とすると、「A製品:@5万×2個、B製品:@3万×11個、C製品:@2万×20個、D製品:@1万×17個」の場合でも、100万 / 50個 = @2万になり、全製品の単価を一律に「2万」と確定するらしい???

= 嘘です。

中国会計では製造原価計算書を法定していませんので、自社の方法(日本本社の算定方法)でも構いません。

;後日、加重平均法とは「総平均法」「移動平均法」と判明しました。

Q-3: 中国会計では、「製造原価計算書」が無くて良いのか？

中国では「製造原価計算書を作る必要はない」とか、「自社で自由に作れるので勘定科目の記載が不十分でも良い」とか？ と中国現地法人の会計担当者から言われましたが、本当ですか？

= 嘘です。

製造原価計算書は法定されていませんが、自社で工程管理や個別製品の単価算出のために必要になります。正確に算定するか、いい加減に、適当に算出するかは、日本本社が判断する事になります。

Q-4: 「資産の償却費」と「無形資産・前払費用」のリストは、**不要・没有**

経費の内訳も明確になってきましたので、次に「1501; 固定資産の償却費」「1801; 無形資産」「1301/1901; 前払費用」の償却費リストを送ってくださいと中国現地法人の会計責任者へ依頼すると「**不要; 必要ない**」「**没有; 有りません**」と言われましたけど、本当ですか？

= 嘘です。

中国会計でも作成を義務付けています。資産の購入日・数量・単価や償却年数や方法もぜひ記入させて、チェックしてください。会計責任者から、かなり嫌われますけれども必要な業務です。更に、2008/1月からは償却年の削減や加速法も可能になりました。

前払費用や無形資産では「理由」も必要です。固定資産にするのが「嫌や」だから、前払費用等で計上している中国現地法人も多数ありました。

そして「1231; 低価格消耗品」は資産で、「5/5 償却」と「一括償却」を選択できますので、注意してください。

Q-5: 発票(領収書)がある場合だけ、伝票を作る「現金主義」です

中国現地法人の会計責任者や総経理から発票がないと伝票を作れないので、「発票が発行されるまで、取引先から発票が届くまで、計上できません」と言われましたが、本当ですか？

= 嘘です。

2006年の中華人民共和国財政部設定「企業会計準則: 基本準則」から、第1章「総則」の第9条に「発生主義」での会計処理を謳って、「発生主義」を明確にしています。

但し、昔のソビエト共産式会計で教育された多数の会計人は「発生主義」を理解できていません。「会計 = 税務」と教育されてきました。

2000年ごろに設定された「中国政府: 企業会計準則」を見た事も、読んだ事も、勉強した事も無く、更に読む事する拒否した会計人もいました。中国会計の『**中年の害**』になります。

故に、毎月、個別の取引先の残高: 売掛金や買掛金が「**: マイナス**」でも気にしていません。全体の勘定科目がプラスになっていれば、OKですから「詳細な点にまで、気を廻すな」とアドバイス **脅されました。**

この理由としては、中国の会計ソフトも問題がありました。勘定科目や補助科目での残高表示では「+; プラス」か「**: マイナス**」の判断が難しいためです。「貸」「借」と数字だけの表示になっていますので、ジックリと監査・確認しないと見つけられません。

負債である「2171-01: 未払税金- 増値税」は、日本の「仮払消費税」と「仮受消費税」と同じ

意味になりますので、残高が「**マイナス**」で資産を意味しています。

Q-6:「棚卸資産」が3種類も有るが、数字が不一致でもOK?

会社によっては、在庫が「貿易台帳」と「会計帳簿」「実施棚卸」の3種類もあります。その数字が、一致しなくても構わないのか?

= 嘘です。

一致するのが正解です。計上基準や計上に必要な資料等を一致させれば、数字が合いやすくなります。

ただ、増値税等のため管理が難しくなっていて、正確な「実地棚卸」を会計担当者が嫌っていた面もありました。故に、日本本社は「不一致の理由」の明確化を要求してください。

日本でも銀行残高で、不一致の場合が多く有ります。その時と同じように「理由」や「小切手」「手形」等を明記した処理をしておけば、監査法人にも理解されます。

【追加質問】

中国会計ソフトでは、毎月の「決算書」では仕訳を修正せずに、「決算書」各欄の数字だけを換えられるのか?

= これこそが、「**嘘:信じられない!**」でした。**残念ながら、本当に修正できました。** 何しろ、目の前で見せられました。

(F:記)

OVTA アドバイザー



上海情報 2009年12月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6219-8120 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【ケース・スタディー】

中国会計を主な業務にしていますので、典型的な多数の事例から今後の対応策・解決策をご提案しています。

状 況:

大阪のメーカー A 社は、1992 年から中国企業: B 社と「資本金 70%vs30%」の合弁で大連に C 社 & 工場を設立する。

総経理と工場長の日本人 2 名を常時派遣するが、会計責任者は B 社から出向してもらい全てを信頼して任せてきた。毎年の CPA 監査も簡単に承認されて、利益も順調に増えていたので安心していった。

しかし、常時、運転資金が不足していたので、その原因を見つけるために 2008 年に初めて内部監査を 15 年目に実施した。

C 社会計の「B/S」の内訳を調べたら、日本; A 社から大連; C 社への買掛金は「1,000 万日本円」なのに、C 社から A 社への売掛金は、「1 億 1,000 万日本円」の残高と判明して、その差額金額「1 億日本円」と驚かされた。

毎年、「B/S」の内訳が不明で、結果として「約 500 万 ~ 2,000 万日本円」が C 社の A 社: 売掛金として増加していた。

問題点:

日本 A 社は、会計業務の全てを中国企業: B 社に任せ、優秀な中国系法人でも実行している日本 A 社との「個別与信管理」を行わず、内訳も知らずに 期末監査をすんなりと承認していた。

対応策 :

まず、会計の計上基準を再確認します。

- * 貿易等の「A 社の買掛金」の基準と「C 社の売掛金」の基準が統一してあるか? ; 統一されているならば、原因は大連: C 社の会計担当者の能力不足になります。故意か、過失かは不明です。
- * そして、製造原価計算書と固定資産償却費リストも作成させます。製造業ですので、毎月の決算財務諸表等を「2 ~ 3cm」以上になりますが、A 社に送信させます。

* 全ての銀行口座で毎月「残高証明書」を発行させます。有料ですが、小額で発行してくれます。

対応策 :

次に、A社はC社の会計業務を全て把握する必要が有ります。

中国会計では、毎月決算を行うので日本A社への売掛金を別の勘定科目「**売掛金: 日本A社**」として、毎月残高を外貨「**US \$ or J ¥**」でも把握する。

；残高が合わない場合は、直ちに、合併: C社の会計担当者に不一致の原因を調査させる。翌月の決算申告日に間に合わない場合は、翌月に修正させる。差額金額が大きい場合だと、「**罰金も覚悟**」して決算申告を遅らせる。

期末監査時に「A社の買掛金」と「C社の売掛金」が不一致と判明したら、A社は**期末監査報告書に承認印を押さない**。

；申告遅れになってC社は罰金を支払いますが金額が一致するまで、CPAからはもちろん、B社やC社の会計担当者からの苦情や嘆願も無視してください。

期末監査を実施する CPA 事務所に、売掛金や買掛金の取引先ごとに「**残高証明**」を確認させます。もちろん、CPAの期末監査費用が、「+ 20 ~ 30%」はアップするでしょう。安心代になります。

将来的には、「月間支払予定表」と「月間支払実績表」を作成させて、「部門管理」までも実行します。

解決策?? :

C社の数字を不一致のまま、修正しないと、中国の税務署や日本の税務署から「**移転価格**」や「**脱税**」との疑いを受ける可能性が高くなります。但し、A社は約 15 年間、C社の期末監査を承認していましたので、A社が自ら差額の原因を見つけ証明して、修正を依頼する必要が出てきました。

もし、差額の原因を突き止めたとしても、今度は、合併先の中国法人: B社や中国税務署を納得させる事が出来るかが、次の大問題になります。

毎月や毎期末に、本社側との売掛金や買掛金が把握できる会計システムや組織作りを実行しなかった日本本社の大ミスになります。

結論:

大連C社の期末監査に関して、日本レベルの会計監査を中国 CPA 事務所へ要求すれば、このような問題は発生しません！

(上海では、日本レベルの会計監査が可能な CPA 事務所もあり、そこへ要求して、行っている日系企業もあります)

アドバイス

中国会計と日本会計の主な相違は、2点だけです。

- 「販売原価」は、「個別原価法」だけで算定
- 「製造原価計算書」は、【B/S】に所属

(F:記)
OVTA アドバイザー